

共催

・保谷駅前公民館
・ほくっとネット
(北東部地域協力ネットワーク)

駅前 防災講座

災害時の 備え

は万全ですか

今年は阪神淡路大震災から30年の年です。今後巨大地震の発生が想定されていますが、私たちの住んでいるまちに、関東大震災並みの大地震が襲ったらどうでしょう。防災・減災社会実現のために、慌てず、お互いに協力し合って身を守っていく方策について考えます。

第1回 都市防災と備蓄新時代

講師 守 茂昭さん

講師プロフィール:都市防災研究所理事・上席研究員(地区防災計画学会理事)、東京駅周辺防災隣組 副代表、日本災害食学会 副会長。専門分野は都市防災(帰宅困難者論、防災備蓄論)、文明論(分析科学と総合化)。

東京駅周辺防災隣組による業務市街地の自主防災活動から、備蓄の新時代が到来しつつあることを提唱している。

3月16日(日)
10時~12時



第2回 地域で助け合う自助

講師 荘 雄一郎さん

講師プロフィール:西東京レスキューバード代表
阪神淡路大震災直後の関西勤務をきっかけに都市と地震災害を考え始める。2015年に社会福祉協議会主催の災害ボランティア養成講習会受講生を中心に西東京レスキューバードを設立。

今年度も市との協働事業で市内の多くの関係者を集めた「防災サミット」を実施。

3月23日(日)
10時~12時



第3回 地域で共助を進めていくために

講師 高橋 信貴さん(ほくっとネット)
避難所運営協議会
西東京市社会福祉協議会
荒屋敷自治会
西東京市危機管理課長

3月30日(日) 10時~12時

場所 保谷駅前公民館 定員 30名(申込順)

対象 市内在住・在勤・在学者優先

申込 3月3日(月)10時から

右に掲載している申込フォームまたは
保谷駅前公民館(042-421-1125)への
電話にて受け付けています。



申込フォーム